

## 9. ボストン福島シャトル便

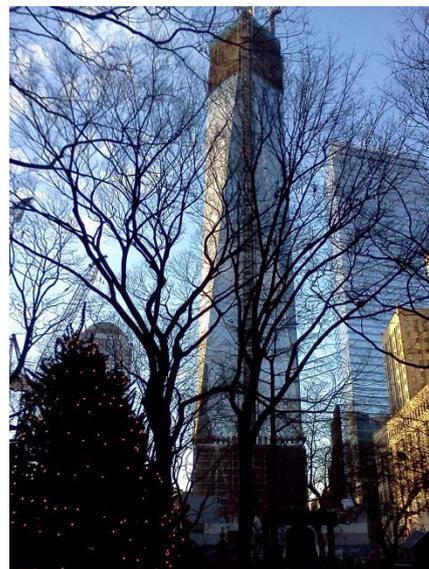


少し遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。こちらでもしばらく前まで挨拶が” Happy new year!” でした。サンクスギビングに引き続きクリスマス休暇で、体重が減りません。幸い前回報告した急激な上昇は止まりました。

今回の休暇は、共同研究者の先生との会議をかねて家族でニューヨークに出かけました。今回のチャレンジは、電車で旅行することとコンピューター不携帯です。電車はチケット買って乗ればいいだけと思ったら大間違い。ボストン・ニューヨーク間は全席ビジネスクラスといいながら指定席はないのです。人数分の席は確約されているけれど、家族 3 人で一緒に乗れるか分かりません。しかも、何番線から発車なのかは、なんと 10 分前でないと案内ができません。みんな掲示板の近くでそわそわと待つのです。そこで夫がネット検索したところ、事前に駅のポーターさんに荷物を 10 ドル位のチップで預けると、荷物と一緒に他の人より早めに案内してくれる、希望の席が取りやすいとのこと。半信半疑で荷物を預けると、確かにその通りで、家族 3 人でゆっくり席を選べました。つまり、10 分前でないと案内がでないのは、このポーター制度があるからではないかと思うのです。ニューヨークのホテルでも歯ブラシがなくて近くの店に買いに出たのですが、翌日ガイドの方が、必要な生活用品はフロントに電話すれば持ってきてくれて、そこでチップを払うのだと教えてくださいました。サービスを買う国だと実感しました。



対岸から見た自由の女神



グラウンドゼロの新しいビル

そして、コンピューターなしの生活を5日間しました！本が落ち着いて読めて、子どもとたっぷり遊べました。生活と気持ちが豊かになる気がしたので、帰宅後は居間にコンピューターを置かないようにしたら、子どもから「前のママより良い」との評価をもらい、これを継続しようと心掛けているところです。油断するとコンピューターと向き合う時間が長くなってしまいますので、生活のメリハリをつけるトレーニングを続けようと思います。



でも、研究の中間発表会と学会での発表が来月に迫り、それなのにまだ分析をしている途中で、間に合うか気になり始めています。子どもの学校のボランティアも、先月の相撲の説明に続き、今月は日本の給食の調理と配膳です。こちらの学校では沢山のお母さん、それにお父さんが頻繁に学校行事に参加していて、日本のワークライフバランスもこうなればいいなと思います。日本人の仕事量が多すぎるのは確かですが、それを軽減すればいいだけの話ではなく、こちらの大学の先生方、学生の仕事のするときの集中力はすごいです。やっぱりメリハリなのだと思います。まずは来月の発表に向けての準備をだらだらとせずに、集中して取り組んでいこうと思います。



子どもと学校で作った  
ジンジャーブレッドハウス



街中の巨大ツリー